

開講年次・時期	2年前期	授業回数		時間数	90時間	必修・選択	選択	授業形態	実習	単位数	2単位
---------	------	------	--	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK330	科目名	保育実習Ⅱ(保育所)	担当者名	千葉
授業の概要	保育実習ⅠA・ⅠBを踏まえ、保育士として必要な資質・能力・技術を実習を通して学ぶ。下記の項目について理解を深め、保育の理解と技術の向上をはかる。家庭と地域の生活実態に触れて、子どもの社会福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を養う。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育全般に参加し保育技術を習得し、子どもの個人差についての理解と多様な保育ニーズへの対処方法を習得する。 ・指導計画を立案し実践する。 ・家族とのコミュニケーションの方法および地域社会との連携について具体的に学ぶ。 ・子どもの最善の利益への配慮を学ぶ。 ・保育所保育士としての倫理観を養い、自己課題を明確にする。 				
DPの観点	⑤社会性 ⑥専門知識・技能 ⑧実践力 ⑨主体性				
授業時間外学修(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所・保育指針を復習する ・乳幼児の発達について復習をする ・実践に必要な教材研究を行う ・絵本の読み聞かせ、手遊び、ピアノ等の事前準備をする ・具体的な指導計画について、あらかじめ準備を行う(毎日1時間程度) 				
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実習最終日に反省会を行う ・日誌の記録に対するコメント ・自己評価票の記入、実習日誌を基にした個別の振り返り ・グループワークなどでの共同の振り返り ・個別面談により評価のフィードバックを行う 				
単位認定の要件	<ul style="list-style-type: none"> ・実習は原則として90時間行う ・実習日誌等の記述と提出が完了していること ・総合評価が合格基準に達していること これらの定められた基準を満たすことが単位認定の要件である。				
評価の方法・割合(%)	事前・事後の準備(20%)、実習先からの評価(30%)、実習に臨む態度(20%)、実習日誌の評価(30%)				
履修上の注意事項	実習規定を守ることが実習を行う条件となる。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			保育士の職務を理解し、保育技術を習得する	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
2			子どもの個人差に応じた対応、発達の違いに応じた援助を学ぶ	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
3			特別な配慮を要する子どもへの理解を深め、その対応について学ぶ	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
4			延長保育等の多様な保育サービスの体験とその必要性の理解	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
5			部分実習・全日実習の指導計画を立案し実践する	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
6			家庭との連携、コミュニケーションの方法を学ぶ	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
7			子育て支援のニーズを理解し、地域における保育所の役割を学ぶ	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
8			地域の社会資源(小学校・医療機関・図書館等)との連携を学ぶ	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
9			守秘義務の遵守や職業倫理について理解する	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
10			実習全体の総括と今後の学習課題の明確化	⑤⑥⑧⑨	ディスカッション
11					
12					
13					
14					
15					
期末試験					

使用テキスト	実習指導ガイドブック、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
参考文献 参考URL	全国保育士会倫理綱領
備考	・事前に実習先でオリエンテーションを受ける ・実習施設は認可保育所とする

10の観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	------------------------------------------------

授業の自己評価	
---------	--